

令和4年度福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金

事業評価調書（茨城県内交流会事業）

事業者名 特定非営利活動法人フュージョン社会力創造パートナーズ

<p>①事業名</p>	<p>(事業名を記載(補助金申請時に報告しているもの)) 茨城県内交流会事業</p>
<p>②事業の目的</p>	<p>(補助事業の目的や必要性を記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難先での移住を決められた方がほとんどであるため、茨城県が第二の故郷となってもらえるように、地域の良さを「食」「人」「歴史・文化」などを通して、感じてもらう。これにより、茨城に住み続けるにしても、誇りと愛着を持って生活がしていける基盤づくりを行う。 ・茨城県南で交流会を開催しているのは、避難元自治体単位の各自助グループを除いては当法人だけとなっている。当法人の交流会を楽しみにしてくれている方もいらっしゃるため、交流会を通して更なる横のつながりをつくり、セーフティネット作りに寄与していく。 ・独居で孤立しがちであるものの、最近参加してくれるようになった方もいらっしゃるため、引き続き参加を呼び掛け、当事者同士の繋がりを生み出すことで、孤立防止にも努める。
<p>③実施事業の内容</p>	<p>(実施した補助事業の内容を具体的に記載)</p> <p>1. 令和4年11月20日：牛久シャトー見学交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場所：牛久シャトー（牛久市） ●講師：牛久シャトー株式会社職員 ●参加者：13名（避難者7名、支援者5名、講師1名） <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>2. 令和4年12月11日：己書作成交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場所：つくば市大穂交流センター ●講師：篠田さゆり氏（己書師範、己書さゆ凜道場主宰） ●参加者：10名（避難者5名、支援者4名、講師1名） <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>3. 令和5年2月18日：黒澤醤油工場見学交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場所：黒澤醤油（ひたちなか市） ●講師：有限会社黒澤醤油店代表取締役

	<p>●参加者：14名（避難者7名、支援者6名、講師1名）</p> 
<p>④事業の成果</p>	<p>(補助事業の実施により得られた成果を具体的に記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛久シャトー見学交流会には、初めて交流会に参加された方を含めて7名が参加し、同郷同士の繋がりを懐かしむ様子が伺えた。参加者からのアンケートでは、満足度は全員が5点満点であった。 ・己書作成交流会には、初めて交流会に参加された方を含めて5名が参加した。参加した自助グループのリーダーが講師にそのグループでの講師も依頼するなど、繋がりを作ることができた。参加者からのアンケートでは、満足度は全員が5点満点であった。 ・黒澤醤油工場見学交流会には7名（うち子供1名）が参加し、馴染みのある地元の醤油屋さんの製造過程を知ることができ、地元の良さに触れることができた。参加者からのアンケートでは、満足度は全員が5点満点であった。 ・今年度3回の交流会の参加者合計は、避難者延19名、支援者延15名、講師3名と、例年に比べて小人数であった。 ・今年度3回の交流会の参加者アンケート平均は全て5点満点と、小人数ながらも非常に満足度の高い交流会とすることができた。
<p>⑤今後の課題</p>	<p>(事業の成果を踏まえての課題や今後の事業の継続や展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすい交流会にすべく地元の多様な方にも協力して頂きながら創意工夫を凝らしているものの、参加者数は3回の交流会合計で延19名に止まってしまっている。交流会の内容そのものは、アンケートでは全て満点を頂いているため、今後も茨城の良さを感じてもらえる内容を重視した交流会として継続していきたい。(⑥特記事項にも意見を述べています。)